

野口小学校だより



～「自主・自律」の心を育てる～

本校 HP QRコード



**国語** 全体としては、全国・県平均を少し上回っています

全国平均と比較して ○：正答率が高かった問題 △：正答率が低かった問題

| 問題番号       |   | 問題の趣旨  |
|------------|---|--|
| 1 四        | ○ | 文章の種類とその特徴について理解している。                                |
| 2 一        | ○ | 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する。                           |
| 3 一<br>(1) | ○ | 必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと<br>の中心を捉える。      |
| 3 一<br>(2) | ○ |  |
| 3 二        | ○ | 目的や意図に応じ、話の内容をとらえ、話し手の考えと比較しながら、<br>自分の考えをまとめる。(記述式) |
| 1 三        | △ | 漢字を正しく使う。※「意外」という漢字(他2つの漢字は解答)                       |
| 3 三        | △ | 日常よく使われる敬語を理解している。                                   |
| 1 二        | △ | 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫<br>することができる。(記述式)  |
| 2 四        | △ | 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができ<br>る。(記述式)         |

#### 児童質問紙(国語科に関するもの)

「国語の勉強は大切ですか」(95.9%)、「国語の授業で学習したことは将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」(94.5%)という質問に対して、ほとんどの児童が、肯定的な回答をしていて、国語の学習の意義を自覚しながら、学習に取り組んでいることがわかります。また、「国語の授業で、言葉には、相手との好ましい関係をつくる働きがあることについて学んでいますか」(91.7%)という質問も肯定的な回答をしている児童の割合が高く、学習したことをよく理解し、さらにそれらを活用していこうとする意識をもつこともできています。

これらの肯定的な回答の割合は全国・県の平均を上回っています。

その一方で、「国語の勉強は好きですか」(51.7%)、「国語の授業の内容はよくわかりますか」(84.8%)の回答は全国・県平均をやや下回り、これが今後の課題と考えます。

#### 考察と今後の課題

全国平均と比較して正答率は高かったです。特に高い領域は「話すこと・聞くこと」です。本校児童は、人前で話をしたり、人の話を聞いたりする力がついていると思われます。しかし、児童質問紙では、国語は大切だと感じている一方で、苦手と感じている児童も多い傾向にあると考えられます。

今後は、「協同的探究学習」「加古川スマート探究学習」を取り入れて、児童の自己有用感の醸成を図るため、自分の考えを表現することが楽しいと感じられる授業の設定を増やしていきます。また、単元を見通した指導構成を行い、目的や意図に応じて理由を明確にしながら、自分の考えを書いたり、まとめたりする活動を増やしていきます。具体としては、文章構成を事前に考えてから書く作業に臨ませ、書いた後には読み返す習慣をつけさせていきたいと考えます。

なお、漢字の書き取り練習にも工夫を凝らし、ただ書く回数を増やすのではなく、漢字の成り立ちや意味などにも触れながら丁寧に文字を書くことを指導したいと思います。

# 令和5年度全国学力・学習状況調査および調査結果について

令和5年度全国学力・学習状況調査および本校の調査結果についてお知らせします。

今後、この結果を鑑みて下記の通り、取り組んでいこうと考えております。保護者の皆様におかれましてはぜひお目通しいただき、引き続きご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

**算数** 全体としては、全国・県平均を少し上回っています

全国平均と比較して ○：正答率が高かった問題 △正答率が低かった問題

| 問題番号        |   | 問題の趣旨   |
|-------------|---|---|
| 1<br>～<br>4 | ○ | 伴って変わる2つの数量の問題  |
| 2<br>(2)    | ○ | 正方形の意味や性質について理解している。(記述式)   |
| 3<br>(2)    | ○ | 示された日常生活の意味を解釈し、少数の加法や情報を用いて求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断する。 |
| 2<br>(3)    | △ | 正三角形の意味や性質について理解している。   |
| 2<br>(4)    | △ | 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる。(記述式)             |
| 3<br>(4)    | △ | (2位数)÷(1位数)の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることができる。                             |
| 4<br>(1)    | △ | 百分率で表された割合について理解している。   |
| 4<br>(3)    | △ | 示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できる。(記述式)              |
| 2<br>(7)    | △ | 二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができる。  |

## 児童質問紙（算数科に関するもの）

「算数の勉強は大切ですか」(97.2%)、「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」(97.9%)という質問に、ほとんどの児童が、肯定的な回答をしており、算数の学習の意義を自覚しながら学習に取り組んでいることがわかります。また、「算数の勉強は好きですか」(72.5%)、「算数の授業内容はよくわかりますか」(85.5%)という質問にも、肯定的な回答をしている児童の割合が高かったです。

これらの肯定的な回答の割合は全国・県の平均を上回っています。

## 考察と今後の課題

算数科においては、全体的に全国平均よりも高かったです。特に高かった領域は、「数と計算」です。本校児童は、小数の加法や乗法の混合計算を確実に解答したり、求め方を言葉や式を用いて説明したりする力が身につけてきていると考えられます。

その一方で、「図形」の領域は全国的にも低く、特に三角形の性質や面積の問題では、正答率が全国平均を下回っています。「図形」においては、公式に当てはめて計算するだけではなく、なぜそうなるのかという根拠を明確にして、考え方や解決方法を理由付けしながら表現する「協同的探究学習」や、学習コンテンツを活用して思考を速やかに共有し、より高めていく「加古川スマート探究学習」に力を入れていきます。

【裏面に続く】

## 生活実態調査

※回答率(%)は「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」を合わせたものです

### 《学 校》 どの項目も全国平均を上回っています

| 質問内容   | 本 校   |
|--|-------|
| 学校に行くのは楽しいと思いますか。                                  | 93.1% |
| 自分と違う意見について考えるのが楽しいと思いますか。                         | 80%   |
| 学級の友だちとの活動で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。 | 85.5% |
| 学習した内容について、分かった点や、よく分からない点を見直し、次の学習につなげることができますか。  | 79.4% |
| 授業で学んだことをほかの学習で生かしていますか。                           | 85.5% |

児童はおおむね学校生活を楽しんでいるようです。今後もよりよい人間関係作りができるよう努めてまいります。特に、児童会活動を中心に自主性を大切にした教育活動をより活性化させていきます。さらに、教育相談やアセス等のアンケートを活用し、不安を抱えた児童が安心して学校生活を送れるように心がけていきたいと思ひます。

### 《家庭・地域》

| 質問内容  | 本 校   |
|---|-------|
| 決まった時刻に寝ている。                                      | 84.8% |
| 決まった時刻に起きている。                                     | 89.6% |
| 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。《全国平均とほぼ同等》                  | 70.3% |
| 学校の授業以外に、普段(月～金まで)、1日あたり1時間以上勉強している。《全国平均を大きく上回る》 | 68.4% |
| 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思ひますか。《全国平均を上回る》             | 82.8% |

「家庭のチェックシート」実施時にもありましたように、家庭における学習習慣が身につけている児童が多いです。今後の働きかけで、さらに自分で計画を立て、主体的に学習に取り組む態度を伸ばしていきたいです。

社会とのつながりも意識できており、地域を大切にする思いや支援ボランティアへの感謝の念がうかがえます。

### 《自尊感情》

| 質問内容                          | 本 校   |
|-------------------------------|-------|
| 自分にはよいところがあると思ひますか。《全国平均を上回る》 | 87.6% |
| 将来の夢や目標を持っている。《全国平均を上回る》      | 86.2% |

多くの児童は、自己肯定感や向上心が育っていると考えられます。目標を持ち、明るい心で挑戦し続ける「自主・自律」が本校の目標であり、体験的学習やキャリア教育等を通じて、今後も将来の夢や目標に向かって行動する児童を育てていきたいと思ひます。

### 《読書の習慣》

| 質問内容  | 本 校   |
|---|---|
| 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）1日どれくらいの時間、読書をしますか（教科書・マンガは除く）。 | 「読書をする」<br>（10分～2時間）<br>77.2%<br>「全くしない」22.8% |
| 読書は好きですか。《全国平均を下回る》                                 | 66.9%   |

「学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか。」という問いに対して、「月に1～3回程度」と答えた児童が36.6%と、全国平均32.9%をやや上回っていました。図書ボランティアの皆さんと連携を図りながら、今後も図書室を利用した学習活動を推進したり、読書ができる時間を確保したりするなど、読書に親しむ態度を養っていきたいと思います。

### 《ICT機器の活用》

| 質問内容   | 本 校                                     |
|--|---|
| 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは、勉強の役に立つと思いますか。《全国平均とほぼ同等》 | 96.5%                                   |
| 学校の授業以外に、勉強のためにICT機器を使っている。                          | 「使っている」<br>80.1%<br>「全く使っていない」<br>19.3% |

クロームブックが導入されてから、児童の使用頻度が増し、ICT活用能力も向上しています。学校の授業以外でも家庭学習等で利用する機会も増えてきました。今後も「加古川スマート探究学習」の実現を目指し、ICTを積極的に活用した教育活動を推進していきます。

なお、ICT機器が児童の興味関心を高め、学習等に有効であると同時に、実体験の減少や視力低下、長時間の使用など、その課題も検証されています。使用時の情報モラルにも触れながら、有効活用を目指したいと思います。